

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サハダイヤモンド

コード番号 9898 URL <http://www.sakha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今野 康裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役プライダルジュエリー事業部長 (氏名) 亀井 晃

TEL 03-3846-2061

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,458	26.6	△254	—	△532	—	△527	—
23年3月期第2四半期	1,152	216.4	△283	—	△425	—	△450	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △371百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △483百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△2.12	—
23年3月期第2四半期	△2.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	2,199	1,609	73.2	6.00
23年3月期	2,136	1,623	75.9	8.14

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,609百万円 23年3月期 1,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	42.0	△200	—	△300	—	△310	—	△1.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	268,172,137 株	23年3月期	199,326,052 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	20,494 株	23年3月期	18,844 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	248,589,674 株	23年3月期2Q	163,291,497 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料のP.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により大きな打撃を受けた国内サプライチェーンの回復が進み、萎縮した個人消費にも一部持ち直しの動きが見えてきたものの、電力供給不足や原発事故の影響が長引き、更には欧米の景気減速と財政不安による円高・株安も深刻さを増してくるなど景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する宝飾業界においても、不況を背景とした消費マインドの落ち込みに加え、企業間の価格競争も激化しており大変厳しい経営環境となっております。

当社グループのブライダルジュエリー事業では、プロポーズを促すセット商品がマスコミで頻繁に紹介され注目を集める中、バージндаイヤモンド銀座本店、名古屋本店では様々な工夫をこらし、小規模なセミナー及び婚活パーティー等を開催し、顧客の囲い込みを行っております。

また、e-ショップ（インターネット販売）では、顧客のニーズにあった商品を揃えて様々な顧客層を取り込みながら、会員数、売上の拡大を図ってまいりました。

加えて、トレーディング事業はロシア産インゴット（金地金）の販売等を中心に行っております。

一方、当社の海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）は原石及び原石加工販売を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高は1,458百万円（前年同期比26.6%増）、営業損失は254百万円（前年同期は営業損失283百万円）、為替差損277百万円の発生等により経常損失は532百万円（前年同期は経常損失425百万円）、四半期純損失527百万円（前年同期は四半期純損失450百万円）となりました。

セグメント別業績の概況は次のとおりであります。

（ブライダルジュエリー事業）

ブライダルジュエリーの販売では、高額商品の売上が伸びたことから、売上高は168百万円（前年同期比190.8%増）、セグメント損失は19百万円（前年同期はセグメント損失57百万円）となりました。

（インターネット事業）

e-ショップの販売では、消費マインドの落ち込みから、売上高は106百万円（前年同期比11.9%減）、セグメント損失は27百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。

（ダイヤモンド研磨事業）

海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）の売上高は959百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント損失は26百万円（前年同期はセグメント損失27百万円）となりました。

（トレーディング事業）

トレーディング事業の売上高は224百万円、セグメント損失は7百万円となりました。

なお、当事業は新たに開始した事業のため、前年同期の記載はありません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,199百万円となり、前連結会計年度末と比較して62百万円増加しました。資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

①資産

売掛金の増加（90百万円増）、商品及び製品の増加（84百万円増）等により62百万円の増加となりました。

②負債

前受金が178百万円減少したものの買掛金が199百万円増加したこと等により76百万円の増加となりました。

③純資産

新株式の発行による資本金の増加が179百万円あったものの四半期純損失が527百万円計上されたこと等により13百万円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成23年5月20日付公表の平成24年3月期第2四半期累計期間（連結）の業績予想は修正しております。詳細は、平成23年11月14日付で公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、平成24年3月期通期業績予想（連結）は現在精査中でありますので、当該予想が必要となる場合は速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成16年3月期より継続的な純損失を計上し、キャッシュ・フロー面でも営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスが続いていること等により、継続企業の前提に関する注記を連結財務諸表等に平成20年3月期中間決算より記載しておりましたが、平成23年10月19日付で第10回新株予約権を発行し、平成23年10月20日に2,145百万円が行使され、全額の行使が完了しております。

これにより、資金面において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断いたしましたので、当該注記の記載を解消いたしました。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23	20
受取手形及び売掛金	33	123
商品及び製品	655	739
その他	35	124
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	743	1,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	312	310
減価償却累計額	△36	△41
建物及び構築物（純額）	276	268
その他	30	31
減価償却累計額	△27	△27
その他（純額）	2	3
建設仮勘定	1,040	842
有形固定資産合計	1,319	1,115
無形固定資産		
のれん	—	8
その他	6	5
無形固定資産合計	6	14
投資その他の資産		
投資有価証券	8	8
破産更生債権等	118	118
その他	62	61
貸倒引当金	△122	△122
投資その他の資産合計	67	66
固定資産合計	1,393	1,196
資産合計	2,136	2,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26	225
短期借入金	—	56
未払金	165	162
未払法人税等	9	8
前受金	273	95
その他	35	38
流動負債合計	510	586
固定負債		
その他	3	3
固定負債合計	3	3
負債合計	513	590
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,609	2,788
資本剰余金	174	353
利益剰余金	△1,192	△1,720
自己株式	△2	△2
株主資本合計	1,588	1,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	34	190
その他の包括利益累計額合計	34	190
新株予約権	0	—
純資産合計	1,623	1,609
負債純資産合計	2,136	2,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,152	1,458
売上原価	1,092	1,353
売上総利益	59	104
販売費及び一般管理費	342	358
営業損失(△)	△283	△254
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	4	—
その他	0	1
営業外収益合計	4	1
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	144	277
株式交付費	1	1
その他	1	0
営業外費用合計	146	280
経常損失(△)	△425	△532
特別利益		
前期損益修正益	2	—
貸倒引当金戻入額	3	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
たな卸資産処分損	28	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	0	—
特別損失合計	29	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△449	△532
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	—	△5
法人税等合計	1	△4
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△450	△527
四半期純損失(△)	△450	△527

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△450	△527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	△33	156
その他の包括利益合計	△33	156
四半期包括利益	△483	△371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△483	△371
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブライダルジ ュエリー事業	インター ネット事業	ダイヤモンド 研磨事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	64	121	966	1,152	—	1,152
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	0	—	10	△10	—
計	75	121	966	1,163	△10	1,152
セグメント損失 (△)	△57	△29	△27	△114	△168	△283

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△168百万円には、セグメント間取引消去12百万円及び配賦不能営業費用△180百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関する費用であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	インター ネット事業	ダイヤモンド 研磨事業	トレーディ ング事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	168	106	959	224	1,458	—	1,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	0	—	—	7	△7	—
計	174	107	959	224	1,465	△7	1,458
セグメント損失 (△)	△19	△27	△26	△7	△80	△173	△254

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△173百万円には、セグメント間取引消却△3百万円及び配賦不能営業費用△169百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関する費用であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. トレーディング事業（ロシア産金地金の輸入販売及び資源に関する品目の取り扱い）は、新たに開始した事業であり、報告セグメントの内容を変更するものではありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月23日付で、Eurostar HK Holdings Limitedから第9回新株予約権の行使に伴う払い込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が179百万円、資本準備金が179百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,788百万円、資本準備金が353百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間
(自 平成23年7月1日
至 平成23年9月30日)

(1) 第10回新株予約権の発行

当社は、平成23年10月3日開催の取締役会において、次のとおり第三者割当により発行される第10回新株予約権の募集を行うことについて決議し、発行を完了しております。

①発行期日	平成23年10月19日
②新株予約権数の総数	650個(1個当たり100,000株)
③発行価額	本新株予約権1個当たり100,000円
④当該発行による潜在株式数	65,000,000株
⑤調達資金の額	2,210,000,000円(差引手取り概算額2,199,000,000円) (内訳)新株予約権発行による調達額65,000,000円 新株予約権行使による調達額2,145,000,000円

(新株予約権の行使に際して出資される財産の価額1個当たり3,300,000円)

⑥行使価額	1株当たり33円
⑦募集又は割当方法(割当先)	第三者割当の方法により、巖健軍氏に全て割り当てる。
⑧その他有価証券届出書に記載している内容のうち新株予約権に関する必要な内容	本新株予約権の発行については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とする。

⑨使途

ダイヤモンド研磨事業の運転資金等、ダイヤモンド研磨事業の設備費等、当社グループの運転資金等に充当予定。

(2) 新株予約権等の状況

当社は、第10回新株予約権「発行総数650個、払込金額の総額2,210百万円」を平成23年10月19日に発行いたしました。平成23年10月20日に650個が行使され、2,145百万円の資金調達をいたしました。未行使残はありません。

(3) 資金の借入

当社は、平成23年10月28日開催の取締役会において、資金の借入を行うことについて決議し、同日借入を完了しております。

①借入の理由

本社ビル取得資金に充当するため。

②借入の内容

1. 調達総額	165百万円
2. 借入先の名称	株式会社アサックス
3. 期間	平成23年10月28日から平成24年5月10日まで
4. 金利	年6.5%
5. その他	不動産担保ローン
③借入日	平成23年10月28日

当第2四半期連結会計期間
(自 平成23年7月1日
至 平成23年9月30日)

(4) 固定資産の取得

当社は、競売入札の結果を受け、平成23年10月28日開催の取締役会において、固定資産の取得を決議し、同日取得しております。

①取得の理由

今般、当該物件が東京地方裁判所本庁において競売に付されたことを受け、当社はその期間入札において当該物件の入札に参加していましたが、入札の結果、東京地方裁判所本庁より、当該物件の売却許可決定を受けた当社は、競売に係る所定の手続きに従い、買受代金を納付することにより当該物件の所有権を取得することといたします。

②取得資産の内容

1. 取得資産の概要

(単位:百万円)

資産の名称及び所在地	帳簿価額	取得価額	現況
(土地)			
所在地 東京都墨田区千歳三丁目8番2、同所8番4	—	318	事務所等
地目 宅地			
地積 333.11㎡			
(建物)			
所在地 東京都墨田区千歳三丁目8番2、同所8番4			
種類 事務所			
延床面積 1,838.44㎡			
合計	—	318	—

2. 取得による損益 該当事項はありません。

3. 決済方法 現金

③買受(落札)の価格 318百万円

④日程

競売売却決定期日 平成23年9月1日

買受代金支払予定日 平成23年10月28日

物件引渡日 平成23年10月28日